



▲ごみ分別クイズでペットボトルの出し方を確認



プラスチックによる海洋汚染が今、世界規模で大きな社会問題となっています。ごみとして捨てられたプラスチックが最後に行き着くのは海。世界中の海にはすでに1億5千万トンのプラスチックごみがあるとされ、そこに毎年800万トンのプラスチックが新たに流れ込んでいると推定されています。この状況が続けば、2050年には海にいる魚の重さよりも、プラスチックごみの方が重くなると言われていま

す。世界規模の社会問題と聞くと、自分とは遠く離れたところで起きている問題だと感じる人も多いですが、わたしたちが身近にできることとして、ごみの分別があります。

町では、今年度から、「ごみの出し方講座」を行っています。希望する町内会や団体のもとに町職員が伺い、ごみの分別などについて分かりやすく伝えるという内容です。10月15日には、南郷会館で「サロン南郷」の皆さんに対して講座を実施。ごみの分別クイズや排出量を減らすための取り組み事例を紹介し、参加した皆さんが日ごろ困っている分別方法などについて、一つ一つお答えしました。当日皆さんから出された質問を一部紹介します。

Q 出し方に迷うごみあったらどうしたらいいですか？

ごみの出し方は、「ごみ収集カレンダー」や「家庭ごみの分け方・出し方ハンドブック」、町のホームページで調べることができます。

ごみ減量からつながるSDGs

海の豊かさを守るため
一人一人が「ごみ分別」

Q 町内会や団体ごとに資源回収に取り組めるの？

現在延べ16の町内会や団体が資源回収に取り組み、売却益や報奨金を活動費として役立てています。資源回収に取り組む団体は、収集業者から回収かごを借りることができます。詳しいやり方や報奨金などについては、左記にご連絡ください。

一人一人のごみの分別の積み重ねが、持続可能な社会づくり、SDGs達成へとつながります。今後も、随時講座を開催しますので、希望する団体は問い合わせください。

暮らし環境課

エネルギー環境対策係

☎ 582-2123

SDGs宣言のまち

町は、「地方創生SDGs推進の町」と宣言し、各分野であるゆることに取り組んでいます。17の目標のうち、今月は「14：海の豊かさを守ろう」に関する内容を紹介しました。まずは身の回りのできることから実践してみましょう。

